東京都退職校長会
絆

発行所　東京都退職校長会
発行者　角田美枝子
〒113-0034　文京区湯島4-12-3　鈴木日退連共同ビル２Ｆ
電話　03－5814－5615
東京都退職校長会ホームページ　http://totaikou.jp/

関係諸団体との緊密な連携
東京都退職校長会の発展を目指して



東京都退職校長会　会長　角田　美枝子

秋風が心地よい季節になりました。各支部から届く便りには、改革・改善を試みながら、歩みを進め、ご尽力する様子が伝わってまいります。

【五校種代表との教育懇談会】

八月に五校種代表の校・園長方との教育懇談会を開催しました。各校・園の取り組みや課題を熱く語っていただきました。

本会の活動に対する沢山の感想・意見もいただきました。

その一つは、本会の教育寄与活動です。「教育研究プロジェクトチーム」の活動を高く評価し、更なる期待を具体的に寄せていただきました。

その中で、幼稚園長会長より「幼稚園の保育活動に対する支援を求める声」がありました。会員の皆様でお力添えいただける方がおりましたら、是非、本会事務局にご連絡をお願いいたします。

二つ目は、本会の支部活動に対してです。講演会、見学会、作品展等を通して会員相互が交わり、絆を深める支部活動の魅力を共感していただきました。中でも、支部のクラブ活動等に他支部の会員が「奨励会員」として参加できることも注目を集めました。趣味のクラブや研修会等、入会後の活動の選択肢が多いことを望む声が聞かれました。

本会会則にある「奨励会員」制度が、今後、更に広まることを願っています。

【教育庁表敬訪問】

今年度も、東京都教育委員会教育長の坂本雅彦様をはじめ、次長、教育監、部長、課長方に、本会を代表してご挨拶をいたしました。都教委の皆様から、本会の教育寄与活動に対する応援の言葉をいただきました。中でも、中学校英語スピーキングテスト「運営スタッフ」の協力について、お礼の言葉がありました。支部長はじめ多くの会員の皆様に応募していただきましたことに感謝申し上げます。

【資産対策講演会の開催】

昨年度初めて「相続」の講演会を開催したところ、大変好評で講演会の継続開催を希望する声が多数ありました。そこで、今年度も東京都教職員互助会にご支援いただき「認知症になる前に考える資産対策について」の講演会を一月に開催いたします。会場は昨年同様、お茶ノ水駅に近い「池坊東京会館」です。広い会場ですので、会員の皆様、是非ご参加ください。

都教委はじめ現職校園長会、並びに関係諸団体との緊密な連携は本会の活動充実及び発展に欠かすことができません。今後も、皆様のご理解をいただきながら、着実な歩みを進めてまいります。

主な記事

P1　巻頭言 会長挨拶
P2　現職五校種代表との教育懇談会概要
P3　業務運営改善委員会報告
P4　令和8年度 本部役員･事務局長、支部長、クラブ、特別委員長
「認知症になる前に考える資産対策について」講演会のご案内
P5　支部だより
第一回会員研修会報告
P6　新入会員の声
P7　高齢者叙勲受章会員
令和9年度 新年懇親会のお知らせ
P8　物故者
応募コーナーからのお知らせ
応募コーナー
編集後記

現職五校種代表との教育懇談会

日時　8月26日（水）13時30分
場所　鈴木日退連共同ビル　3階会議室

令和八年度の現職五校種代表との教育懇談会を実施しました。

参加者

東京都国公立幼稚園・こども園長会　会長　鳥居三千代
東京都中学校長会　会長　重山　直毅
東京都公立高等学校長協会　副会長　山田　和人
東京都特別支援学校長会　会長　村上　卓郎
東京都公立小学校長会　会長代理　坂西　圭子
（都議会ヒアリング出席のため欠席）

概要　司会進行は赤坂寅夫副会長。記念撮影、会長挨拶、各代表からの課題及び対策についての情報提供がありました。

その後、角田美枝子会長より「本会本部の魅力ある活動」について、さらに副会長・部長より「支部の魅力ある主な活動」についての説明がありました。



続いて、それまでの報告・説明に対する質疑・応答・意見交換が行われ、相互理解と協力を深めた有意義な時間となりました。

東京都国公立幼稚園・こども園長会

会長　鳥居三千代

園数は昨年度より5園減の151園（うち休園12園）、総園児数は6252名である。そのうち特別な配慮を要する幼児の割合は全体の16％、外国籍等の幼児は約11％である。誰一人取り残すことのない教育を実践している国公立園として、その存在意義を示し、幼児を健やかに育むための施策や施設設備の充実について、関係諸機関を訪問して協議している。

次期幼稚園教育要領等の改訂に向け令和7年9月に出された「論点整理」では、「直接的・具体的な体験の一層の充実」「幼児教育と小学校教育との円滑な接続の推進」があげられている。どちらも国公立園が大切に進めてきていることであり、今後一層充実・推進するとともに、「円滑な接続」に関しては、小学校の理解を得て更に推進していきたい。子どもたちが自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手となるよう、その土台の部分を、質の高い幼児教育の実践により育んでいく。

東京都公立小学校長会

会長代理　坂西　圭子

私たちが今直面しているのは、若手の指導力不足や欠員、ミドル層の不足、特別支援の配置ミスマッチなどの深刻な経営課題です。この状況を打破するため、私たちは「つながる・学ぶ・届ける」のスローガンの下、主体的な学校経営を進めています。

校長としては、一斉指導から子供が「自己決定する時間」を単元内に組み込むなどの授業改善をすすめ、教員に「伴走者」としての丁寧な見取りと声かけを徹底させて、学級の心理的安全性を高める努力をしています。

校長会としては、都との顔の見える連携や「有識者会議」を通じて、主幹3人体制の断行、新採教員の柔軟配置など、現場の切実な人員・制度要望を力強く届け続けています。

同時に、ほぼ毎月開催している連絡会で、できるだけ詳細な報告やホットな情報提供を大切にしています。1259名の校長が元気に明るく学校経営できる下地として機能したいと考えています。

東京都中学校長会

会長　重山　直毅

東京都中学校長会は、地区代表会や校長会長等連絡会などにおける情報交換を大切にしながら活動しています。

現在、学校教育を取り巻く課題は多岐にわたります。中でも「教員のなり手不足・教員確保」は大きな課題であり、特に技術科教員の欠員は深刻な状況

です。

また、「不登校」については、初めて減少に転じましたが、引き続き対応への支援を充実していきます。

さらに、「修学旅行」についても、物価高騰やインバウンドの影響などにより見直しが進み、この数年で100校を超える学校が関西方面から他地域へ行き先を変更しています。

このほかにも多くの課題がありますが、610名の校長が「情報を力に」「一枚岩で」を合言葉に組織的に対応していきます。

東京都退職校長会の皆様には、今後とも温かい御支援と御助言を賜りますようお願い申し上げます。

東京都公立高等学校長協会
副会長　山田　和人

都立高等学校は、社会の急激な変化と生徒の多様化を踏まえ、学校の個性化・特色化を一層推進することが喫緊の課題となっている。

各校が自校の特色を磨き上げるとともに、都立高校全体の価値向上を図るため、主体的かつ戦略的な学校経営を進めている。校長192名の結束を強め、全国高等学校長協会や関係機関との連携を深めることが重要である。

都教育委員会では令和7年度より「都立高校の魅力向上懇談会」が開始され、令和8年度には三つの専門部会が設置された。現場の課題を施策に反映する体制が整いつつある。

令和9年度予算要望では、特色化推進のための財政措置、教職員の処遇改善と業務縮減、施設・設備整備、授業力向上の人的条件、部活動の充実、学校経営支援体制の強化を求めている。

これらを着実に進めることが、都立高校の持続的発展と信頼確保につながる。

東京都特別支援学校長会
会長　村上　卓郎

本会の主な取組について説明いたします。本会では、定例の校長連絡会において、全体会及び障害種別（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱）の分科会を設けています。分科会では、各校の課題を共有したり、主要施策等に関する意見交換を行ったりしています。

また、校長連絡会のおおむね2週間を目途に、運営調整会議及び役員会を開催し、教育庁からの施策等の説明を受けるとともに、各校が抱える課題の共有や対応について協議しております。

研修事業としては人権研修会、人材育成講習会を実施しました。特に人材育成講習会では次代の学校経営を担う人材の育成を目的として実施しました。調査研究事業では、各校の研究活動や学校経営上の工夫等、日頃の取組をデジタルブックにて共有し、都立特別支援学校全体の教育力及び学校経営力の向上を図っております。

業務運営改善委員会報告

委員長　宇津木順一

本委員会から2点報告いたします。

一つは、会則の検討についてです。

現在の会則で、会の運営や活動の上で、課題等があるとは考えておりません。従って内容の変更は検討しておりません。今まで会則について部分的な加除修正等をしてきておりますので、あらためて文言を整理して表現を整えたいと考えます。整理ができたところで支部長会でご検討いただきたいと考えています。

二つは、個人情報保護に関してです。

会則第30条に「個人情報の保護に関する方針を別に定める」とあります。これを踏まえて、現在、本委員会で個人情報の扱いについて、特に個人情報の保護の観点から検討を進めています。内容が整ったところで支部長会で検討いただき、規程等として定め、あらためて共通理解を図りたいと考えています。

令和８年度　本部役員・事務局長

会　長	角田美枝子	（品　川）	会務の統括・代表	**筆頭相談役**	桐谷　澄男	（千葉南部）
副会長	赤坂　寅夫	（千葉南部）	総務部担当	**相談役**	西田　敦子	（日　南）
〃	皆川　　清	（町　田）	会計部担当	〃	宇津木順一	（西多摩）
〃	田中　政美	（北多摩北部）	生涯学習部担当	**監　事**	澤海　富保	（北多摩西部）
〃	福島　良樹	（八王子）	情報推進部担当	〃	山内　俊久	（　北　）
				〃	大澤　正子	（渋　谷）
				事務局長	直井　一郎	（大　田）

令和８年度　支部長一覧

1	千代田・中央	**鈴木　正孝**	5	豊島	**野村　清**	3	府中	**志賀　定一**
1	港	**野々山　毅**	5	北	**加藤紀美子**	3	調布	**榎本　勉**
1	新宿	**佐藤　正吉**	5	荒川	**桜庭　清徳**	3	狛江	**吉田　和夫**
1	文京	**小林　博**	5	板橋	**橋本由美子**	5	北多摩西部	**新藤　久典**（代行）
1	台東	**上村　肇**	5	練馬	**梅村　勝**	4	西多摩	**村野　久子**
1	墨田	**松岡　一行**	2	足立	**大兼　茂子**	1	大島	**増木　米孝**
1	江東	**加村　隆治**	2	葛飾	**十川　豊**	1	三宅島	**櫻田　昭正**
3	品川	**名倉　俊一**	4	江戸川	**神田　茂**	2	千葉南部	**宮内　太一**
3	目黒	**松村由紀子**	4	八王子	**松澤　茂久**	2	千葉中部	**菅原　賢男**
3	大田	**直井　一郎**	4	町田	**新保富二夫**	2	千葉西部	**齋藤　二郎**
3	世田谷	**髙橋　明嗣**	4	日南	**宍戸　武昭**	2	千葉北部	**坂入　信敏**
1	渋谷	**吉川　光子**	3	武蔵野・三鷹	**梅津　道郎**	5	埼玉県	**阿部　好三**
4	中野	**遠藤　好俊**	5	北多摩北部	**中山　悦夫**	4	神奈川県	**宮川　博**
4	杉並	**井口　茂**	4	北多摩中部	**鹿田　克己**			

1～5 ブロック番号

部・部長（副部長）

総　務　部	志賀定一	会　計　部	中山三夫	広　報　部	榎本　勉
福利厚生部	遠藤好俊	生涯学習部	湯地和夫	情報推進部	

クラブ・クラブ長

絵　　画	関口修司	写　　真	岡本喜美子	ソフトテニス	石原容子	釣　　り	町田静隆

囲碁クラブ、園芸クラブ、短歌クラブは休部中です

特別委員会・委員長

予算検討	桐谷澄男	業務運営改善	宇津木順一	教育研究PT	草野一紀
会員増強PT	三原一浩	ホームページ	福島良樹		

PT：プロジェクトチーム

東京都退職校長会「認知症になる前に考える資産対策について」講演会のご案内

会員の皆様全員を対象にした講演会です。会員に身近な「資産対策」を取り上げました。

昨年度は皆様に関わる「分かりやすい『相続』の話」を専門家にしていただき大好評でした。

会員の皆様の参加をお持ちしています。

日時：令和９年１月20日(水)(受付12時30分)
　　午後１時～１時50分　(２時より支部長会)

講　演:「認知症になる前に考える資産対策について」

講　師：相続診談士　岡橋伸樹 様

場　所：池坊東京会館５階

＊住所：千代田区神田駿河台2-3-12

・JR御茶ノ水駅　水道橋口　徒歩４～５分
・東京メトロ丸の内線　御茶ノ水駅　徒歩６分
・東京メトロ千代田線　新御茶ノ水駅　徒歩８分



支部だより

絆を大切に

世田谷支部長　髙橋明嗣

世田谷支部は、正会員が百名を越していたが、現在は、特別会員を入れて百名と減少している。会員増を目指す取り組みは、支部の課題である。現職校長会への働きかけや学校への訪問等を続けて実施している。

また、講演会では、区の広報にお知らせを掲載し、区民の方の参加も呼びかけている。脳トレ教室、笑いヨガの実施、算数の実践的な話で区民の方の参加があった。私達の活動を知って頂く機会と位置付けている。今後、退職公務員連盟との共催も考えている。

会員の研修として今年度は、江戸東京博物館の見学を実施し好評を得た。さらにボッチャ公式審判員の会員の指導で大会を楽しんだりしている。

昭和・平成、令和へと先輩方が残されたもの

渋谷支部長　吉川光子

渋谷支部は発足六十八年。幼小中高等学校の先輩方が脈々と支部の活動を繋いでこられました。支部総会、研修・見学会、会員交流会、現職校長会役員との懇談会。現在は学校運営協議会委員や渋谷区ハチ公大学等の講師などにも活躍しています。

コロナ後の見学会は社会科等専門の会員を講師に大井の大ぼとけ、浅草寺伝法院、南極北極科学館では地球環境の課題を学びました。

総会時の教育長による講演会など、長年先輩方が取り組まれた活動を財産とし、今後も研修を柱にした支部活動に取り組んでいきます。



令和８年度渋谷支部総会
（前列：大沼前支部長・赤坂本部副会長、
渋谷区長・教育長・小中校長会長）

第一回会員研修会報告

令和八年度の第一回会員研修会は五月十八日（月）、総会終了後に行われました。

講師は八王子支部会員の源原重行先生。「ヒマラヤの花々と人々の生活」という演題でスライドを映しながら行われました。

先生は退職後、植物図鑑を片手に利尻・礼文、知床から西表島まで全国を歩き数多くの植物を観察してこられました。

六十五歳になられた時、転機が訪れました。「ヒマラヤ行き」の誘いがあり、最初は恐れをなして躊躇されましたが思い切って参加し、これまで五回も登られたそうです。このヒマラヤ登山は「我が人生で最高の体験であった」と話されました。極寒の不毛の地に生きる植物、まさに環境に適応した植物体のつくり、特に青い芥子の花にかかわっては画家の堀文子氏にまで話題が広まりました。ヒマラヤに生きる人々、主に「シェルパ」として生きる素朴な生活にも心が惹かれました。

僅か三十分という短い時間でしたが、先生の八十五歳とは思えぬ張りのある声が会場に響き亘り、参加者は食い入るように視聴していました。奇しくも十日後の二十九日は「エベレスト登頂記念日」。平凡に生きている筆者には強烈な印象を受けました。源原先生は現在も上高地や多摩地域でガイドをされているというその意欲的な行動力に圧倒された三十分でした。

参加者のアンケートでも、もっと聞きたいという回答が殆どでした。



新入会員の声

入会にあたりまして

荒川支部　津田利枝

昨年度、荒川支部の定期総会及び懇親会にご招待いただいたご縁で、本会に入会させていただきました。これまで大変お世話になった諸先輩方にお会いしたり、名簿にお名前を見つけたりし、これまでの教員生活の懐かしい思い出が鮮明によみがえってきました。

現在は、定年延長により、特例任用一年目として荒川区立ひぐらし小学校に勤務しております。今年度で三十七周年となる本校は、平成元年に統合新校として十二学級でスタートした学校ですが、近年の日暮里地区再開発により、現在は、全一九学級、児童数は約六〇〇人に増加しました。

日々、困難も多い現場ですが、たくさんの子どもたちの活気と笑顔に包まれ、パワーをもらうと共に、幸せをかみしめています。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

よろしくお願いいたします

足立支部　齋藤由美子

私は、令和七年三月に六十歳で役職定年し、現在は、特例任用校長として足立区立千寿桜堤中学校に勤務しております。これまでの自分を振り返りながら、退職の節目を実感しております。

これまでお世話になった先生方が退職後も様々な活動を通して、私たちを支えてくださっています。まだ、日常の校務に追われる日々ですが、少しでもできることがあればと入会しました。

教員になった時代から、社会環境はもちろん学校教育も大きく変わりました。ですが、豊かな人間性を育み、他人や自然を愛する心を培う教育は、揺るぎない本質的価値であり、私たちが守るべきものだと考えます。

新しい令和の教育を支えるためにも、これからも微力ではありますが感謝の気持ちと笑顔で頑張っていきたいと思います。



ご希望のご予算に合わせて
お葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として
昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。
会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応
フリーダイヤル 0120-849-544

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフ グループ
東京都民互助会 平安祭典
ホームページ

本社:東京都杉並区上荻3-15-17　営業本部:東京都練馬区北町5-18-15 3階　TEL03-3396-7231

高齢者叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。　（敬称略）

（令和８年７月 25 日現在　本部に届けがあった方々）

瑞宝双光章（14 名）

中村　　進（八王子）	田村萬里子（千葉西部）	塚本　吉紀（八王子）		
小林　時平（千葉中部）	山﨑　裕夫（八王子）	芝田　武司（練　馬）	伊地　敦子（北多摩北部）	
高山　尚三（八王子）	羽豆　成二（北多摩北部）	小池　文子（日　南）	角田　和弘（埼　玉）	
田端　七郎（八王子）	大須賀敬子（新　宿）	中野　和也（日　南）		

（福利厚生部長　遠藤　好俊）

令和９年度 新年懇親会のお知らせ

○日時：令和９年１月24日（日）午後１時～３時

○会場：主婦会館プラザエフ　７階カトレア

詳しくは 10 月 21 日の第２回支部長会でお伝えし、支部毎に参加者を取りまとめていただきます。皆様、奮ってご参加ください。

■ JR四ツ谷駅 麹町口から徒歩1分

■ 東京メトロ ○ 南北線四ツ谷駅　3番出口から徒歩3分

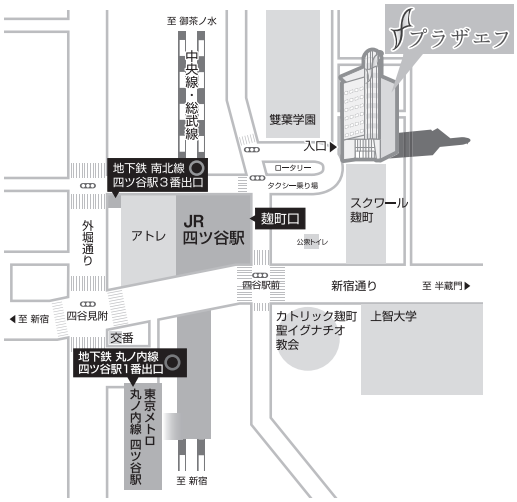
○ 丸ノ内線四ツ谷駅 1番出口から徒歩3分

一般財団法人主婦会館 プラザエフ

〒102-0085　東京都千代田区六番町 15

TEL　03-3265-8111（代表）

受付時間　平日 9:30 ～ 18:00　土日祝 9:30 ～ 17:00



あんしん むすぶ
教職員共済

https://www.kyousyokuin.or.jp/

火災保険（共済）の内容を
見直ししたことがない。
そんな方、一度確認を!!



火災共済
住宅災害等給付金付火災共済
自然災害共済

■自然災害共済は火災共済とセットでご契約いただく共済です。■ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

今、必要な補償額をご存知ですか？
必要な補償額は建物の広さや家族の人数などによって異なります。今の条件に応じた必要補償額を確認しましょう

新築と同じ補償が受けられますか？
もしもの時、建物が時価での補償だと困ります。教職員共済なら築年数に関係なく、新築と同様に補償します！

家財の契約はありますか？
たとえば落雷で家電製品の被害があったときなど、家財契約がないと補償されませんのでご注意を！

風水雪害や地震にも備えていますか？
毎年のように起こる豪雨災害、いつどこで起きるか分からない地震などにも備えておきたいですね

資料請求・お問い合わせ

防災情報のコラムはこちら

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合　東京都事業所　TEL:03-3230-0818
〒101-0003　東京都千代田区一ツ橋 2-6-2　日本教育会館 5F
【平日 9：00 ～ 17：30】
承 23-企-51（2402）

（令和８年９月25日　届出現在）

物故者

謹んでご逝去を悼みご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年月日	支部名	校種	年齢	頁
柳瀬　喜晴	7・11・18	世田谷	小	95	11
井澤　修	8・2・23	武蔵野三鷹	中	92	40
美作　洋一	8・4・3	練馬	小	92	23
新田　豊作	8・4・18	板橋	小	90	20
奥田　豊廣	8・5・10	町田	養	100	34
榎本　徹	8・5・14	世田谷	中	94	11
新宅　英彦	8・6・8	北多摩西部	小	90	50
冨澤　榮	8・6・13	千葉西部	小	103	60
森川　亮	8・6・23	八王子	中	95	30
檜森　宏	8・7・5	江戸川	中	97	27
岡田　啓孝	8・7・19	日南	小	75	38
田端　七郎	8・7・23	八王子	中	89	31
野口　玲子	8・7・31	北	小	95	18
前田　烈	8・9・7	千葉中部	中	87	59
齊藤　徳藏	8・9・13	千葉西部	小	82	61

（福利厚生部長　遠藤　好俊）

応募コーナーからのお知らせ

会報は皆様のコミュニケーションの場です。皆様のご理解ご協力で成り立っています。支部、本部の活動をお伝えするとともに、会員の方々の今をお伝えできたらと考えています。今回紹介したのは、千葉地区の支部間交流活動の成果です。

俳句や短歌などもクラブだけではなく個人的になさっている方もいらっしゃると思います。ぜひ、お声をおかけください。短歌や俳句以外もお待ちしています。（編集子）

応募コーナー

俳句

千葉西部支部
俳句クラブ

山裾に萱草一輪手招きす　黒川貞夫
夏場所や美しき四股沸き返る　立田洽子
咲き誇るバラに二人の笑顔かな　実川栄一
絹さやの旬の彩りおみそ汁　齊藤とも子
たんぽぽの種の旅立ち畦の道　小口榮寿
初夏の幼児よちよち水飲み場　早坂ひとみ
夏立つや田の字に並ぶ樹木墓碑　宇田川嘉一
おーい雲呼びかけてみる風薫る　橋本孝枝
外廻廊板目を転ぶ竹落葉　齋藤二郎

千葉北部支部（支部間交流）

春きざすトンネル多き房総路　西嶋新吉
晩年の二人のくらし梅の花　西嶋久美子
音消して軒に積もりし綿の雪　小宮　誠

千葉南部支部（支部間交流）

スキヤキで祝う正月八十路かな　宮内太一

埼玉県支部
ハイキングクラブ「吟行会」

虫の音に合わせ思わずわらべうた　東條康永
草臥れてベンチの脇の鶏頭草　三原一浩
集まりて見沼の龍神花宴　濵名啓三
けぶるごと春は来るなり見沼路に　中川　一
ほっこりと皆で歓ぶ花見かな　森山裕夫
手を取りて桜回廊行く二人　阿部好三

編集後記

台風や秋雨前線の影響で大雨が続き、相次ぐ自然災害に心を痛めた9月でした。会員に被害が及ばなかったか、とても気懸りです。

今号は、8月に開催された現職五校種代表と本会との教育懇談会の報告を2頁程でお届けしています。今年も、幼・小・中・高・特別支援学校代表の方々がご寄稿くださいました。現在進めておられることや課題が良く分かり、新鮮で得難い情報です。支部の活動等に活かしていただければ幸いです。（西田敦子）